



DD-12

DIGITAL PERCUSSION

取扱説明書



YAMAHA

このたびは、ヤマハ・デジタルパーカッション・DD-12をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

DD-12は、ヤマハが誇るデジタルテクノロジーを結集して完成させたパーカッションです。本書では、その豊富な魅力と操作方法を充分にご理解いただけますよう、順を追って説明しています。実際に操作をしながら、お読みください。

もくじ

1. 特長	2
2. ご注意	3
3. 電源のしたく	4
4. 各部の名称とはたらき	
4-1. コントロールパネル	5
4-2. リアパネル/付属品	7
5. デモ演奏を聴いてみよう	8
6. 好きな楽器音で叩こう	
6-1. スーパーセッションプレーヤー機能を使おう	9
6-2. パーカッションセットの選択	10
6-3. パッドごとに楽器音を割り当てよう (パッド/ペダルアサイン)	11
6-4. オートロール機能	12
6-5. スクレーパーへの割り当て	12
7. リズムスタイルを鳴らそう	13
8. さまざまなコントロール機能	14
9. コード進行を録音しよう	
9-1. リアルタイム録音	16
9-2. ステップライト録音	17
9-3. 再生	18
10. MIDI機能でステップアップ	19
MIDIインプリメンテーションチャート	23
11. 他の機器と接続するには	24
12. オプション(別売品)のご紹介	24
13. おかしいな?と思ったら	25
14. 仕様	26
15. アフターサービスと保証	27

音楽を楽しむエチケット



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

1. 特長

●75種類のPCM音源による楽器音

パッド用の音源には、楽器音をリアルに再現するPCM音源が採用されています。叩きやすい8つの大型パッドそれぞれに、75種類の中から楽器音を選んで割り当てることができます。

割り当てた楽器の音の組み合わせは、パーカッションセットとして5組記憶させることができます。

●30種類のパーカッションセット

8つのパッドに、あらかじめ楽器音が割り当てられています。プリセットとして25組、パッドに自分で楽器音を記憶させることができるものが5組、計30組あります。

●豊富な100種類のリズムスタイル

さまざまな演奏スタイルに対応する100種類のリズムに、それぞれイントロ、フィルイン(2種類)、エンディングのパターンも合わせて内蔵されています。さらに、タップスタート、ブレイク、マイナスイオン機能も搭載されています。

●好みの速さでタップスタート

パッドを叩いてカウントをとり、リズムをスタートさせることができます。

●オートベースコードをバックに演奏

各リズムスタイルごとに、スタイルに合ったコード進行やベース音がプリセットされています。これらをバックに演奏することができます。

●スーパーセッションプレーヤーで楽しさ倍増

叩いたリズムに、DD-12が音でさまざまな反応をします。DD-12とのセッション(掛け合い)をお楽しみください。

●オートロールでハイテクニク

初心者にはちょっと難しいロールのテクニクも、オートロール機能に任せれば簡単です。

●9種類のスクレーパー用楽器音

スクレーパーをこすると、スクレーパー用に選択された楽器音が鳴ります。

●3曲のコード進行をメモリー可能

オートベースコードのコード進行を3曲録音することができます。後で自由に再生させることができます。

●MIDI端子を装備

電子楽器をコントロールするための統一規格であるMIDIの端子を装備しています。MIDIキーボードやシーケンサーなどと接続すれば、楽しみ方がさらに広がります。

2. ご注意

こんな所には置かないでください。



- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・日中の車内
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

こんな所では使わないでください。



- ・ラジオやテレビのすぐ近くで使用されますと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

乱暴に扱わないでください。



- ・落としたり、物をぶつけたり、上に座ったりしないでください。また、ボタンやスイッチ、パッド、スクレーパー等に必要以上の力を加えないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

使わない時は…



- ・必ず電源スイッチを切ってください。
- ・電源アダプターを使用した場合は、家庭用コンセントから抜いてください。
- ・長い間使わない時は、乾電池を取り出してください。

美しく保つために…



- ・汚れは、柔らかい布でカラ拭きしてください。
- ・汚れがひどい時は、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- ・アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- ・ビニール製品を上には置かないでください。貼り付いてしまうことがあります。

保管してください。



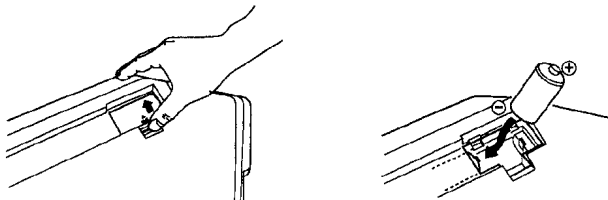
- ・この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

3. 電源のしたく

DD-12は、乾電池でも家庭用コンセントでも使えます。お使いになる前に、どちらかを選んでください。

乾電池を使う場合

- ①DD-12を裏返し、電池ブタを外します。
- ②乾電池(単2乾電池)を6本入れます。向きを間違えないように入れてください。
- ③乾電池を入れたら電池ブタを閉めます。



※電池が消耗すると、以下のような症状が出ます。このような時は、6本とも単2で同じ種類の新しいものと交換してください。なお、お買い求めの際には単2乾電池6本とご指定ください。

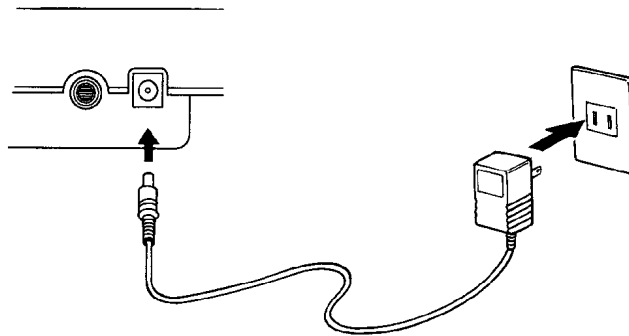
楽器音を鳴らしている時：

- ①スピーカーやヘッドホンから聞こえる音が歪む。または出なくなる。
- ②マルチディスプレイの表示が消える。
- ③DD-12上で設定した内容が初期化される。(たとえば、パッド/ペダルおよびスクレーパーへの割り当てが消え、表示類もすべて使い始める前の状態に戻る。)

家庭用コンセントから電源をとる場合

別売りの電源アダプター・PA-3、PA-4のどちらかを使用します。図のように接続してください。

- ①リアパネルにある電源アダプター接続用端子<DC IN 10-12V>へ差し込む。



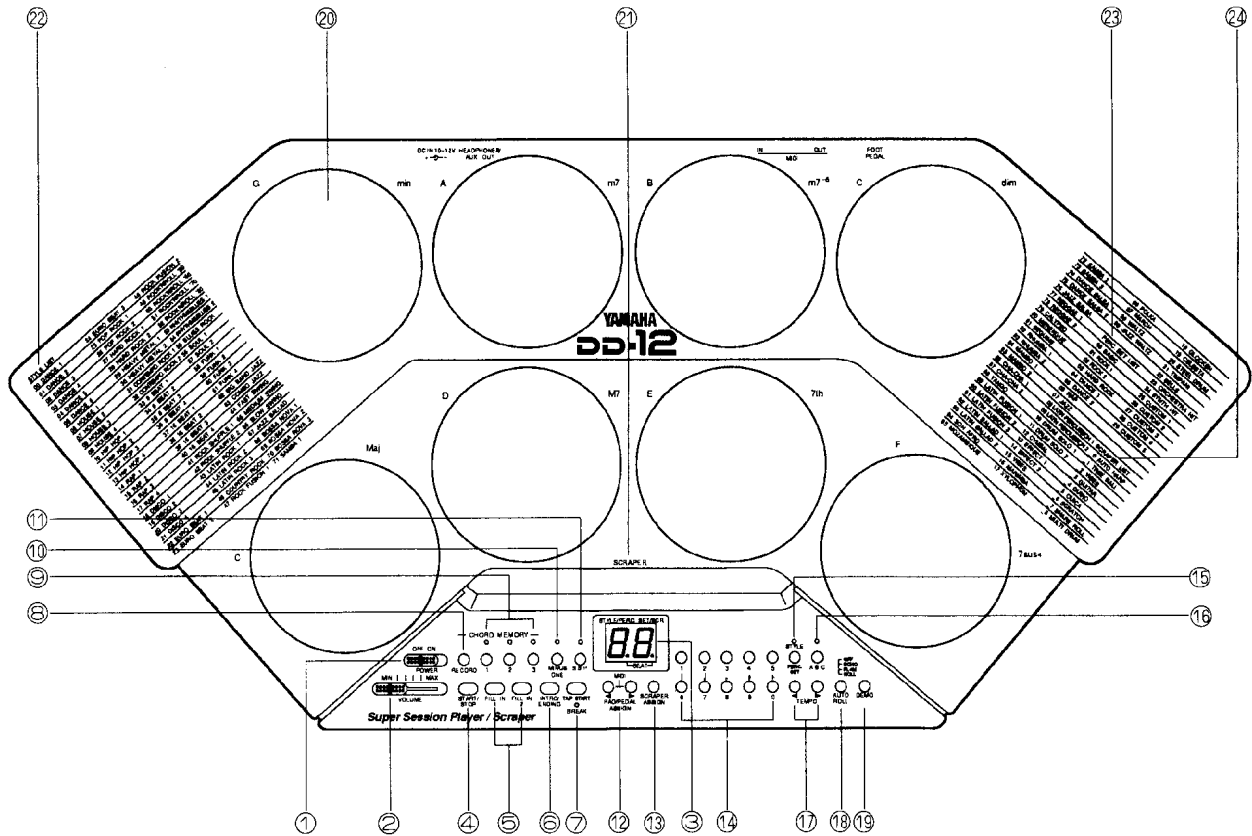
- ②家庭用(AC100V)コンセントに差し込む。

※PA-3、PA-4以外の電源アダプターは使わないでください。他の電源アダプター使用による故障は保証の対象となりませんので、ご注意ください。

4. 各部の名称とはたらき

→マークのところに詳しく説明してあります。

4-1. コントロールパネル



①電源スイッチ(POWER) → 8ページ

電源を入れたり、切ったりするスイッチです。電源を入れると、③の[マルチディスプレイ]に、リズムスタイルの番号00が表示されます。

②ボリューム(VOLUME) → 8ページ

音量を調節するためのレバーで、右にずらすほど音が大きくなります。

③マルチディスプレイ(STYLE/PERC.SET/SCR./BEAT) → 8、11、12、13、14、17ページ

リズムスタイルの番号やパーカッションセットの番号、テンポの値など、さまざまな内容が表示されます。

④スタート/ストップボタン(START/STOP)

→ 8、13、14、15ページ
リズムスタイルをスタートさせる時やストップさせる時に押します。

⑤フィルイン1、2ボタン(FILL IN 1,2) → 14ページ

リズムスタイルを鳴らしている最中にこのボタンを押すと、フィルインのパターンが鳴ります。

⑥イントロ/エンディングボタン(INTRO/ENDING)

→ 14、15、17、18ページ
リズムスタイルをイントロのパターンでスタートさせたり、エンディングのパターンでストップさせる時に押します。

⑦タップスタート、ブレイクボタン

(TAP START, BREAK) → 14、15ページ
パッドを4回(4拍子の場合)叩いて、そのテンポでリズムスタイルをスタートさせたり、パッドを叩いた時にリズムやオートベースコードの音を一時的に消す時に押します。

⑧コードメモリー録音ボタン

(CHORD MEMORY RECORD) → 16、17ページ
コード進行を録音する時に押します。

⑨コードメモリー1、2、3ボタン

(CHORD MEMORY 1,2,3) →16、17、18ページ
コード進行を録音する時と、再生させる時に押します。

⑩マイナスワンボタン(MINUS ONE) →14ページ

リズムスタイルを演奏中、叩いたパッドの楽器音だけを、リズム音の中から約4小節間消す時に押します。

⑪スーパーセッションプレーヤーボタン(S.S.P.)

→9ページ
叩いたリズムに対して、DD-12が音で反応します。

⑫MIDI、パッド/ペダルアサインボタン

(MIDI, PAD/PEDAL ASSIGN) →11、12、20ページ
MIDIに関する設定をしたり、各パッドやペダルに楽器音を割り当てます。

⑬スクレーパーアサインボタン(SCRAPER ASSIGN)

→12ページ
⑳の[スクレーパー]の楽器音を選択する時に押します。

⑭1～0ボタン →11、13、17ページ

リズムスタイルの番号やパーカッションセットの番号などを選択するためのボタンです。

⑮スタイル/パーカッションセットボタン

(STYLE/PERC.SET) →11、13ページ
リズムスタイルの番号、パーカッションセットの番号のどちらを選択できる状態にするかを指定するボタンです。

⑯オートベースコードボタン(A.B.C.) →13ページ

オートベースコードを鳴らす時に押します。

⑰テンポボタン(TEMPO) →13、14ページ

リズムのテンポ(速さ)を調節するためのボタンです。

⑱オートロールボタン(AUTO ROLL) →12ページ

3種類の中から、オートロールの種類を選択するためのボタンです。オートロールの効果が必要ない場合は、オフを選択しておきます。

⑲デモボタン(DEMO) →8ページ

デモ演奏をスタートさせる時やストップさせる時に押します。

⑳パッド →8、9、10、11、12、14、15、16ページ

付属㉔の[スティック]でパッドを叩くと、割り当てた楽器音で鳴ります。リズムのイントロ、エンディング、フィルイン等の機能を割り当てることもできます。
*付属のスティック以外で叩かないでください。

㉑スクレーパー(SCRAPER) →12ページ

付属㉔の[スティック]でこすると、選択した楽器音で鳴ります。

㉒スタイルリスト(STYLE LIST) →13ページ

100種類のリズムスタイル名が表記されています。

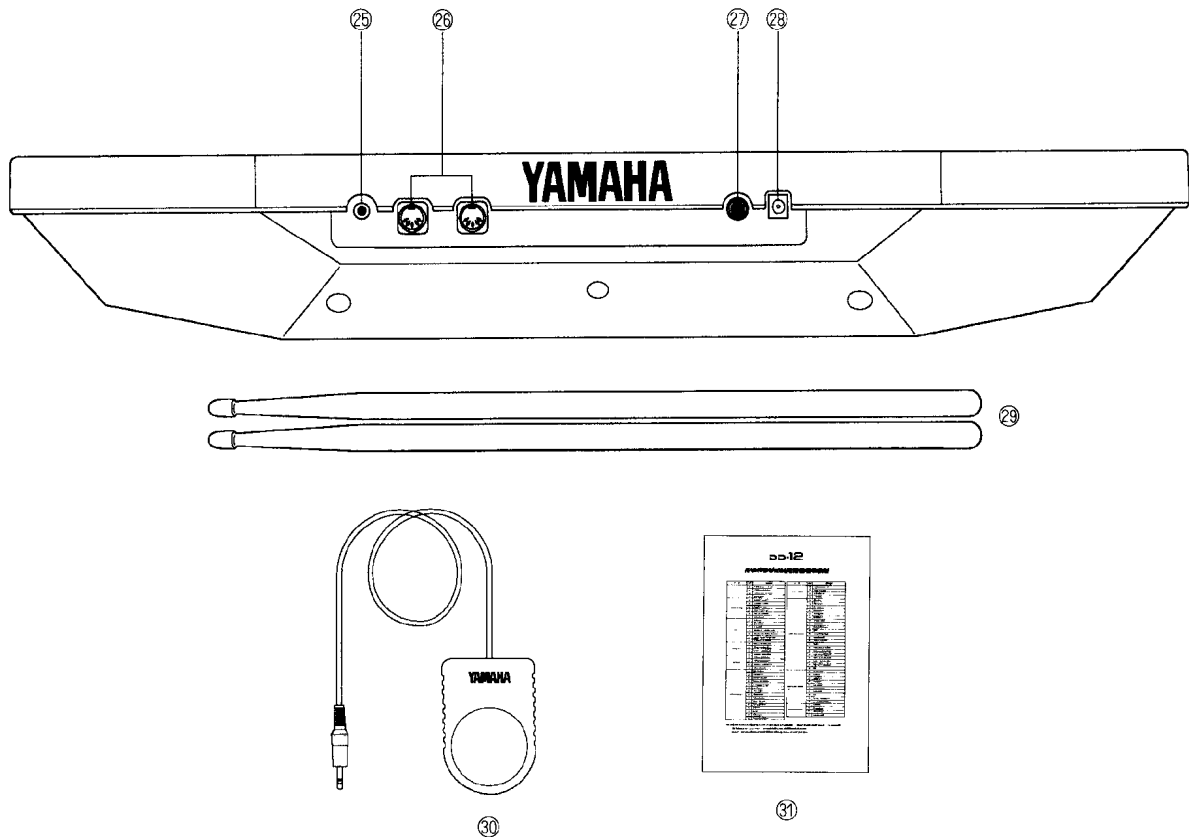
㉓パーカッションセットリスト(PERC.SET LIST)

→10ページ
30種類のパーカッションセット名が表記されています。

㉔スクレーパーリスト(SCRAPER LIST) →12ページ

㉔の[スクレーパー]に割り当てできる、9種類の楽器名が表記されています。

4-2. リアパネル/付属品



②⑤フットペダル端子(FEET PEDAL) → 9 ページ
 付属③①の[フットペダル]を接続するための端子です。

②⑥MIDI端子(MIDI IN, OUT) → 19 ページ
 他のMIDI(ミディ)機器と接続するための端子です。他のMIDI機器と接続すると、MIDIコントロールを行えるようになります。

②⑦ヘッドホン/AUX出力端子
 (HEADPHONES/AUX. OUT) → 24 ページ
 DD-12の音を出力する端子です。ヘッドホンを接続して夜間に使用したり、キーボードアンプやステレオと接続して、より大きな音で鳴らしたり、カセットテープに録音する時に使
 用します。
 この端子にプラグを差し込むと、DD-12のスピーカーからは音が出なくなります。

②⑧電源アダプター接続用端子(DC IN 10-12V) → 4 ページ
 別売りの電源アダプター(PA-3、PA-4のどちらか)を接続するための端子です。電源アダプターを接続すると、家庭用の電源コンセントから電源をご利用になれます。(電池の消耗を防ぎます。)

②⑨スティック → 8、9、11、12 ページ
 ②⑩の[パッド]を叩いたり、スクレーパーをこすります。
 ※このスティックで、DD-12以外のものを叩いたり、こすらないでください。

③⑩フットペダル → 9、10、11、12 ページ
 接続して、このペダルを踏むと、割り当てた音で鳴ります。また、リズムのイントロスタートやフィルイン、エンディング等の機能を割り当てることもできます。

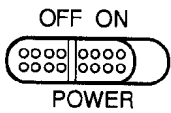
③⑪パッド/ペダルアサイン用楽器音リスト → 10 ページ
 ②⑩の各[パッド]と③⑩の[フットペダル]に割り当て可能な、75種類の楽器等の名称が表記されています。

5. デモ演奏を聴いてみよう

DD-12には、2曲のデモンストレーション演奏が記憶されています。これらの演奏では、リズムに合わせてベース音とコード音も鳴ります。お手本としてお聴きください。

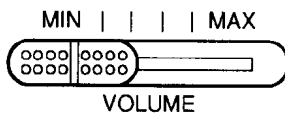
①電源スイッチをオン

電源スイッチをオン側にして電源を入れます。電源を入れると、マルチディスプレイに00が表示されます。



②音量の調節

ボリュームを右方向にスライドさせて、適当な音量になるようにセットします。



大きくなる

③デモ曲の選択とスタート

どちらかの方法で再生させます。

2曲とも再生させる場合：

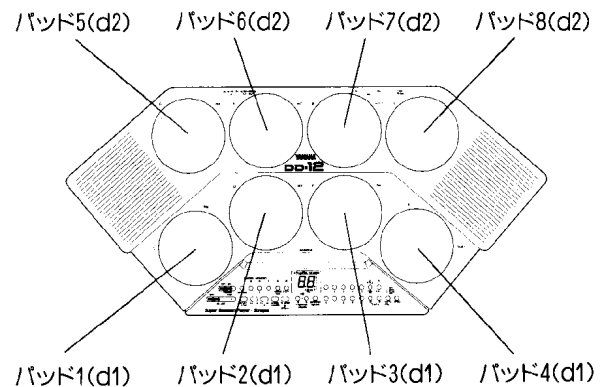
デモボタンを押します。押し続けている間、マルチディスプレイに「dA」が表示されます。「dA」が表示されたことを確認したら、デモボタンを離します。すると1番の曲から再生が始まります。

1番の曲は「d1」、2番の曲は「d2」の要領で表示され、2番の曲が終わっても、1番の曲から再び再生が繰り返されます。



1曲のみ再生させる場合：

デモボタンを押しながら、パッド1～8のいずれかを叩きます。すると、叩いたパッドに対応する曲番(d1またはd2)がマルチディスプレイに表示されます。たとえばパッド6を叩くと、「d2」が表示されます。曲番が表示されたことを確認したら、デモボタンを離します。2番目のデモ曲が始まり、その曲の再生が終わるとストップします。



※デモ演奏の再生中でもパッドやスクレーパー、フットペダルは機能しますが、楽器音の割り当てはできません。

④デモ曲のストップ

デモ演奏を途中でストップさせる時は、スタート/ストップボタンまたはデモボタンを押します。



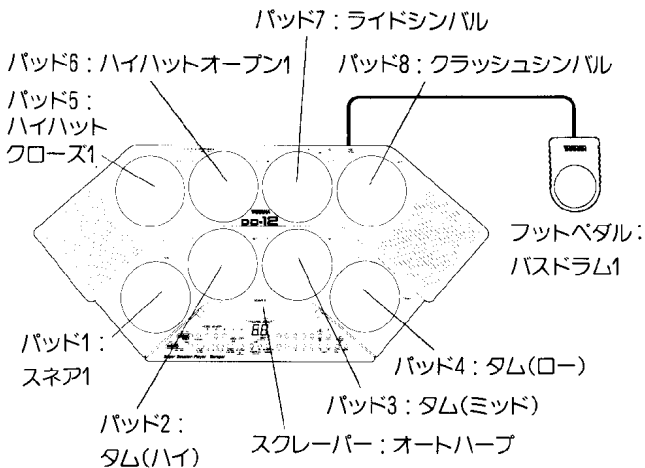
または



6. 好きな楽器音で叩こう

DD-12には、8つのパッドと、スクレーパー、フットペダルがあります。これらを実際を使用して、リズム演奏してみましょう。

8つのパッド、スクレーパー、フットペダルには、初期状態としてそれぞれ次のように楽器が割り当てられています。(パッドおよびフットペダルの楽器音の組み合わせは、パーカッションセット00のベーシックセットです。)



パッド感度の切替方法

パッドの感度を切り替えることができます。

感度を高くする場合:パッド/ペダルアサインボタンの▶を押しながら電源スイッチをオンにします。マルチディスプレイに「Hi」が表示されたことを確認したら、▶を離します。すると、感度が高くなります。

感度を低くする場合:パッド/ペダルアサインボタンの◀を押しながら電源スイッチをオンにします。マルチディスプレイに「Lo」が表示されたことを確認したら、◀を離します。すると、感度が低くなります。

※感度を高くすると、叩く強さの変化幅が広がります。

※初期値は「Hi」です。

※パッドの感度を切り替えても、スクレーパーやフットペダルの感度は変わりません。

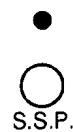
※電源スイッチをオフにしても、設定された感度は記憶されています。

6-1. スーパーセッションプレイヤー機能を使おう

DD-12にはスーパーセッションプレイヤーという楽しい機能があります。この機能により、あなたとDD-12の間でセッションを行うことができます。

①スーパーセッションプレイヤー機能をオン

スーパーセッションプレイヤーボタン(S.S.P.)を押してランプを点灯させ、スーパーセッションプレイヤー機能をオンにします。



②セッションの開始

パッドを叩いたり、フットペダルを踏んでリズム演奏します。すると、叩いたリズムにDD-12がさまざまな音で反応します。

・リズムストップ中

パッドを叩くとDD-12は効果音を出したり、スーパーセッションプレイヤー用パターンを出したり、叩いた音を繰り返したりします。

※叩いた数や強さによって反応が違います。

※長いパターンを叩き続けると拍手が鳴ります。

・リズムスタート後

パッドを叩くとDD-12はスーパーセッションプレイヤー用パターンを追加して出したり、パターンの一部を削除して出したりします。

※電源スイッチをオンにした時は、スーパーセッションプレイヤーはオンになっています。(S.S.P.)ボタンを押してランプを消すとオフになります。

6-2. パーカッションセットの選択

DD-12にはベーシックセットを初めとして、各パッドに楽器音や効果音の組み合わせが次のように30種類記憶されています。これらの中から曲にマッチする組み合わせを選んで演奏できます。

※ 8ページで示したように、下段左端のパッドをパッド1とし、上段右側のパッドまで順に1～8の番号で呼びます。次表では、このパッド番号に対応する楽器音を表記しています。

※ 初期状態では、25～29(カスタム1～5)のセットに、00～04と同じセットが割り当てられています。

パーカッションセット一覧表

パーカッションセット		パッド				フット ペダル
番号	名称	5	6	7	8	
		1	2	3	4	
00	ベーシックセット	17 ハイハットクローズ1	18 ハイハットオープン1	24 ライムシンバル	21 クラッシュシンバル	00 バスドラム1
01	ロックセット1	04 スネア1	12 タム(ハイ)	11 タム(ミッド)	10 タム(ロー)	00 バスドラム1
		17 ハイハットクローズ1	38 タンバリン	37 カガサ	21 クラッシュシンバル	
02	ロックセット2	17 ハイハットクローズ1	37 カガサ	24 ライドシンバル	22 スブラッシュシンバル	00 バスドラム1
		04 スネア1	09 エレクトリックタム1	15 エレクトリックタム2	13 エレクトリックタム3	
03	ハードロックセット	36 カウベル	18 ハイハットオープン1	23 ライドシンバルカップ	21 クラッシュシンバル	01 バスドラム2
		07 スネア4	12 タム(ハイ)	11 タム(ミッド)	10 タム(ロー)	
04	ダンスセット1	17 ハイハットクローズ1	18 ハイハットオープン1	38 タンバリン	21 クラッシュシンバル	02 バスドラム3
		05 スネア2	08 スネア5	11 タム(ミッド)	03 バスドラム4	
05	ダンスセット2	17 ハイハットクローズ1	35 ハンドクラップス	23 ライムシンバルカップ	21 クラッシュシンバル	01 バスドラム2
		05 スネア3	07 スネア4	16 エレクトリックタム2	00 バスドラム1	
06	ラップセット	19 ハイハットクローズ2	20 ハイハットオープン2	38 タンバリン	22 スブラッシュシンバル	03 バスドラム4
		05 スネア2	08 スネア5	57 声(ワウ)	02 バスドラム3	
07	ジャズセット	22 スブラッシュシンバル	24 ライドシンバル	23 ライドシンバルカップ	21 クラッシュシンバル	17 ハイハットクローズ1
		04 スネア1	12 タム(ハイ)	11 タム(ミッド)	10 タム(ロー)	
08	ラテンパーカッションセット1	32 アゴゴ(ハイ)	31 アゴゴ(ロー)	36 カウベル	22 スブラッシュシンバル	00 バスドラム1
		34 クワイカ(ハイ)	28 テンパルス(ロー)	29 テンパルス(ハイ)	38 タンバリン	
09	ラテンパーカッションセット2	42 キロ(ロング)	41 キロ(ショート)	38 カウベル	37 カガサ	35 ハンドクラップス
		27 コンガ(ミュート)	26 コンガ(ハイ)	25 コンガ(ロー)	30 クラベス	
10	ドラムソロセット1	22 スブラッシュシンバル	12 タム(ハイ)	11 タム(ミッド)	21 クラッシュシンバル	00 バスドラム1
		18 ハイハットオープン1	05 スネア2	10 タム(ロー)	00 バスドラム1	
11	ドラムソロセット2	22 スブラッシュシンバル	12 タム(ハイ)	11 タム(ミッド)	21 クラッシュシンバル	01 バスドラム2
		18 ハイハットオープン1	07 スネア4	10 タム(ロー)	13 エレクトリックタム1(ロー)	
12	シンバルセット	21 クラッシュシンバル	24 ライドシンバル	23 ライドシンバルカップ	22 スブラッシュシンバル	63 サウンドエフェクト6
		17 ハイハットクローズ1	19 ハイハットクローズ2	18 ハイハットオープン1	20 ハイハットオープン2	
13	エフェクトセット1	62 サウンドエフェクト5	60 サウンドエフェクト3	56 スクラッチノイズ	59 サウンドエフェクト2	61 サウンドエフェクト4
		52 車のクラクション	39 フィンガースナップ	54 コインが落ちる音	57 声(ワウ)	
14	エフェクトセット2	49 猫の鳴き声	48 犬の鳴き声	51 ジャンブル	55 水の流れる音	50 ライフの音
		58 サウンドエフェクト1	53 ブザー	64 拍手	43 ベルツリー	
15	ビブラフォン (C3～C#4)	G	A	B	C	#の機能
16	マリンバ (C3～C#4)					
17	シロフォン (C4～C#5)	C	D	E	F	
18	グロッケン (C4～C#5)					
19	チェレスタ (C3～C#4)	C	D	E	F	
20	スチールドラム (C3～C#4)					
21	ティンパニ (C1～C#2)	C	D	E	F	
22	ベル (C4～C#5)					
23	オーケストラヒット (C3～C#4)	C	D	E	F	
24	シンセサイザーヒット (C3～C#4)					
25	カスタム1	パッド1～8およびフットペダルそれぞれに、楽器音を選んで割り当てることが可能。詳しくは11ページ6-3を参照。				
26	カスタム2					
27	カスタム3					
28	カスタム4					
29	カスタム5					

パーカッションセットの選択方法

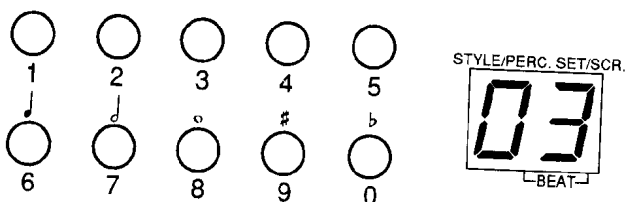
①パーカッションセットの選択を可能に

スタイル/パーカッションセットボタンを押して、スタイルのランプを消灯させます。パーカッションセットの番号選択が可能になります。



②セット番号の選択

00~29の中から、セット番号を選択します。たとえば、セット番号03のハードロックセットを選択する時は、0を押してから、3を押します。(10の位の数字を押してから、1の位の数字を押します。)



※電源スイッチをオンにした時は、セット番号00のベーシックセットになっています。

③演奏

パッドを叩いたり、フットペダルを踏んでリズム演奏をします。

※たとえば、セット番号03のハードロックセットを選択した場合は、パッド1(下段左端のパッド)を叩くと、スネア4の音色で鳴ります。

※セット番号15~24のいずれかを選択すると、フットペダルは#の機能になります。

6-3. パッドごとに楽器音を割り当てよう

(パッド/ペダルアサイン)

パッド1~8(およびフットペダル)に、希望する楽器音を75種類の中から選択して割り当てることができます。

※75種類の楽器音だけでなく、イントロやエンディング、フィルイン1、2の中から選択することもできます。

①パーカッションセット番号を選択

上記①、②の方法で、パーカッションセット番号を選択します。

割り当てたものを記憶させたい場合は、25~29のパーカッションセット番号を選択します。

※25~29の番号に割り当てると、電源スイッチをオフにした後、他のパーカッションセット番号に切り替えても記憶されたままです。

※00~24の番号にもセットできますが、他の番号に切り替えると、元のパーカッションセットの音色に戻ります。

②楽器音の割り当て

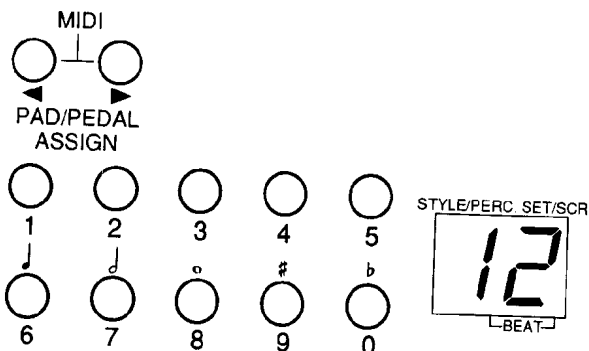
変更したいパッドを一度叩きます。(その後二つの方法があります。)

方法1:パッド/ペダルアサインボタンの▶または◀を押しながら、希望する楽器音が鳴るまでパッドを叩きます。(またはペダルを踏みます。)



パッド/ペダルアサインボタンを離すと、割り当てが完了します。

方法2:パッド/ペダルアサインボタンの▶または◀を押しながら、希望する楽器音の番号を0~9ボタンで選択します。(10の位の数字を押してから、1の位の数字を押します。)



パッド/ペダルアサインボタンを離すと、割り当てが完了します。

※付属の「パッド/ペダルアサイン用楽器音リスト」の順に、楽器音の割り当てが変わっていきます。

※パッド/ペダルアサインボタンの▶を押しながらパッドを叩くと(ペダルを踏むと)、正の順序で(大きい番号の方向に)楽器音が変わり、◀を押しながらパッドを叩くと(ペダルを踏むと)、逆の順序で(小さい番号の方向に)楽器音が変わります。

※パッドやペダルに、イントロ、フィルイン1、フィルイン2、エンディングを割り当てすることもできます。方法1の順番では、74に続いてイントロ、フィルイン1、フィルイン2、エンディングとなり、00と続きます。

※パッドやペダルに何の楽器音が割り当てられているかを確認したい時は、希望のパッドを叩いてから(またはペダルを踏んでから)、パッド/ペダルアサインボタンの▶または◀を押してください。マルチディスプレイに楽器音の番号が表示されます。

※マルチディスプレイには、割り当て中、楽器音の番号00~74、In、F1、F2、Enが表示されます。

※番号65~74の楽器音をパッド1に割り当てるとCの音程、パッド2に割り当てるとD、パッド3に割り当てるとEというように、パッドの位置によって音程が決まります。

※フットペダルに番号65~74の楽器音を割り当ててはできません。

◎他のパッドへの割り当て

割り当てを変更したい他のパッド(またはペダル)にも、◎の要領で割り当てます。

6-4. オートロール機能

3種類の中からロールの効果を選んでかけることができます。ロールの効果をかけると、1度叩いただけでもロールしたような(同じパッドを続けて叩いたような)音にすることができます。

①ロールの種類を選択

オートロールボタンを押してロールの種類を選択します。希望する効果の表示になるまで繰り返し押ししてください。



オフ (oF) : ロールはかかりません。

エコー (Ec) : 1度叩いただけでも、徐々に音が小さくなりながら繰り返されます。

フラム (FL) : 1度叩いただけでも、2度鳴ります。

ロール (ro) : 1度叩いただけでも、素早く連打されます。

※オートロールボタンを1度押した時点では、マルチディスプレイに現在の設定が表示されます。

※ロールやエコーの速さは、リズムのテンポによって決まります。

②演奏

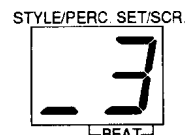
- ◎ ※楽器音の選択やテンポの指定によっては、オートロールの効果が少ない場合や、音が雑音のように聞こえる場合があります。

6-5. スクレーパーへの割り当て

スクレーパーに対する楽器音の割り当てを変更できます。楽器音は、9種類の中から選択できます。

①楽器音の割り当て

コントロールパネル上段右下のスクレーパーリストの中から希望する楽器を選び、希望する楽器番号になるまで、スクレーパーアサインボタンを繰り返し押します。



※ボタンを1度押した時点では、マルチディスプレイに現在の楽器番号が表示されます。

※ボタンを押すたびに正(0→8)の順序で楽器音が変わります。また、8の次は0になり繰り返されます。

②演奏

スクレーパーを左右にスティックでこすって演奏します。

※音階を持つ楽器音の場合は、右方向にこするとグリッサアップ(音程が高い方向に移行)し、左方向にこするとグリッサダウン(音程が低い方向に移行)します。

※スクレーパー部分を爪や鋭いものでこすらないでください。表面を傷付けたり、変形させる原因となります。

7. リズムスタイルを鳴らそう

DD-12には、100種類のリズムスタイルがあります。いろいろなリズムスタイルに切り替えて、鳴らしてみましょう

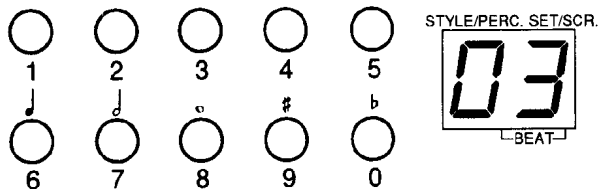
①リズムスタイルの選択を可能に

スタイル/パーカッションセットボタンを押して、スタイルのランプを点灯させます。リズムスタイル番号の選択が可能になります。



②リズムスタイル番号の選択

00~99の中から、リズムスタイル番号を選択します。たとえば、リズムスタイル番号03のダンス4を選択する時は、0を押してから、3を押します。(10の位の数字を押してから、1の位の数字を押します。)



- ※10の位を指定しただけでは、リズムスタイルは切り替わりません。
- ※電源スイッチをオンにした時は、リズムスタイル番号00のダンス1になっています。

③テンポの設定

テンポボタンの▶を押すと速くなり、◀を押すと遅くなります。(詳細は14ページ)



④オートベースコードのオン/オフを指定

リズムだけでなくベースとコード音もいっしょに鳴らす場合は、オートベースコードボタンのランプを点灯させ、リズムだけ鳴らす場合は、消灯させます。オートベースコードボタンを押すたびに、点灯(オートベースコードがオン)、消灯(オートベースコードがオフ)が繰り返されます。



※ベース音とコード音は、そのリズムスタイルにふさわしいパターンで記憶されています。

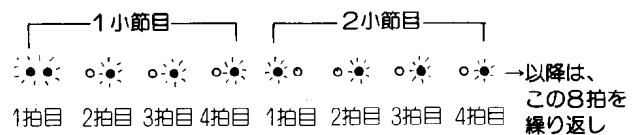
※オートベースコードを選んだ場合のコード進行、およびフィルインの位置は、スタイルごとにあらかじめ決められています。(フィルイン1またはフィルイン2ボタンを押して、好きなタイミングでフィルインを入れることもできます。)

⑤リズムのスタート

スタート/ストップボタンを押して、スタートさせます。



※リズムをスタートさせると、マルチディスプレイ内の点が点滅し始めます。たとえば4拍子の場合、次のように点滅します。



※リズムを鳴らしている最中にリズムスタイルの番号を選択すると、同じテンポを維持しながら次の小節でリズムスタイルが切り替わります。

また、ストップ中に切り替えると、切り替えたリズムスタイルの標準テンポになります。

※リズムを鳴らしながら、パッドを叩いたり、フットペダルを踏んだり、スクレーパーをこすったりして音を加えることもできます。

8. さまざまなコントロール機能

DD-12には、リズムやオートベースコードなどをコントロールするさまざまな機能があります。ここでは、それらの機能をまとめて紹介します。

テンポの指定

テンポボタンを押すことにより、リズムのテンポ(リズムの速さ)を調節できます。



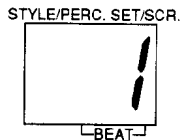
- ※「♩ = 40」～「♩ = 280」の範囲、ステップ単位で指定できます。
- ※ボタンを押し続けると、値がステップ単位で連続して変化します。
- ※ボタンを1度押した時点では、マルチディスプレイにそれまでのテンポが表示されます。
- ※テンポは、マルチディスプレイに2回に分けて表示されます。テンポボタンを押している間は10の位と1の位のみ、テンポボタンを離してから約0.5秒間は100の位のみ、その後は再び10の位と1の位が表示されて、元の表示に戻ります。

例) ♩ = 120の場合

ボタンを押した瞬間
(押し続けていると変わります)



ボタンを離してから約0.5秒間



その後の0.5秒間



そして元の表示に戻る

- ※電源スイッチをオンにした時は、スタイル00の標準テンポになっています。
- ※▶と◀を同時に押すことにより、その時選択されているスタイルの標準テンポに戻すことができます。

スタート方法の選択

リズムのスタート方法には、3種類あります。

普通のパターンからスタートさせる場合：
スタート/ストップボタンを押します。



イントロのパターンからスタートさせる場合：
イントロ/エンディングボタンを押します。



※イントロパターンは、2小節の長さです。

タップスタートさせる場合：

タップスタートボタンを押してランプを点滅させます。(スタート待機状態になります。)



次に、パッド1～8のいずれかを、そのスタイルの拍子の数だけ叩きます。するとDD-12が「ワン」・「ツー」・「スリー」・「フォー」(4拍子の場合)と声でカウントし、パッドを叩いた時のテンポで、リズムがスタートします。

※リズムがスタートした時点で、タップスタートボタンのランプは消灯します。

フィルイン

リズムの途中で、フィルインのパターンを入れることができます。フィルインは、リズムスタイルごとに2種類ずつあります。



※フィルインパターンの長さは、フィルイン1、2ともに最長で1小節です。また、押し続けるとフィルインパターンが繰り返されます。

ストップ方法の選択

リズムのストップ方法には、2種類あります。

普通のパターンでストップさせる場合：

スタート/ストップボタンを押します。



エンディングパターンでストップさせる場合：

イントロ/エンディングボタンを押します。

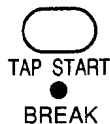


- ※押した次の小節からエンディングパターンが鳴ってストップします。
- ※エンディングパターンの長さは、リズムスタイルごとに異なります。
- ※エンディングパターン中にもう一度イントロ/エンディングボタンを押すと、押したところからリタルダンドして(次第にテンポを落として)ストップします。

ブレイク

リズムを鳴らしている途中でパッドを叩くと、リズムが一時的に消えて、自分で叩いたパターンがドラムソロになる機能です。叩くのをやめると、次の小節の頭からリズムが鳴り出します。

リズムが鳴っている最中にブレイクボタンを押してランプを点灯させ(ブレイクオン状態になります)、パッドを叩きます。



- ※オートベースコードも、リズムと一しょに一時的に消えます。

マイナスワン

リズムを鳴らしている途中でパッドを叩くと、叩いた楽器音と同じ音が、リズムより約4小節間消える機能です。

マイナスワンボタンを押してランプを点灯させ、パッドを叩きます。(各パッドの楽器音は、現在選ばれているスタイルにふさわしいパーカッションセットに変わります。)



オートベースコードを鳴らしながら機能させると、さらに楽しい演奏になります。

- ※リズム音から消したい音が見つかりにくい場合は、パッドアサインを使ってリズムを聞きながら楽器を選んでください。
- ※マイナスワン機能をオフに戻す場合は、マイナスワンボタンを押してランプを消灯させます。ただしマイナスワン機能をオフに戻しても、パーカッションセットの番号は元の状態に戻りません。

9. コード進行を録音しよう

オートベースコードのコード進行を、3曲録音することができます。曲のコード進行を録音しておけば、後でその再生に合わせながらパッド等でリズム演奏できます。録音の方法には2種類あります。

リアルタイム録音：

リズムに合わせてコード演奏する方法です。曲のテンポに合わせてコードを指定できる方は、こちらの方法が手っとり早くて簡単です。

ステップライト録音：

マルチディスプレイを見ながら、ゆっくりと1コードずつ指定する方法です。時間をかけて確実に録音できます。

再生：

どちらの方法で録音した場合も、再生の方法は同じです。コードメモリーボタン1～3のいずれかを押すだけで再生させることができます。

※どちらの録音方法も、次の内容を録音できます。

- ・イントロ/パターンからのスタートか/普通のパターンからのスタートか
- ・イントロ/パターンにベース音とコード音も入れるか/入れないか
- ・コード進行
- ・フィルイン1および2のタイミングおよびブレイク
- ・エンディングパターンでのストップか/普通のパターンでのストップか

※コードメモリー1、2、3それぞれに録音することができます。(合計3曲)

※録音の容量には制限があり、1曲に最大で32小節まで録音可能です。制限に達するとブザーが鳴って録音が中止されます。

※録音しなすと、その曲番号の前の内容が消えます。

④リアルタイム録音のスタート待ちに

スタート/ストップボタンを押します。するとリアルタイム録音の録音スタート待ちの状態になります。マルチディスプレイ内の10の位の点が点滅して、録音の待機状態になったことを知らせます。

⑥録音スタート

録音をスタートさせます。3種類のスタート方法があります。

リズムだけのイントロ/パターンからスタートさせる場合：

イントロ/エンディングボタンを押します。

ベース音とコード音付きのイントロ/パターンからスタートさせる場合：

イントロ/エンディングボタンを押した後、2小節のイントロ/パターンが鳴っている間に、イントロ/パターンのコードを指定します。

イントロ/パターン無しの普通のパターンからスタートさせる場合：

最初のコードを指定します。

※コードは、パッドおよびフットペダルを使って指定します。コードを指定すると、そのコードのベース、コード演奏がスタートします。

たとえばOmを指定する場合は、パッド1を叩き(根音がCに決まり)、すぐにパッド5を叩きます(タイプがマイナーに決まります)。

たとえばD#m7を指定する場合は、フットペダルを踏みながらパッド2を叩き、すぐにパッド6を叩きます。

リアルタイム録音時のコード指定方法

パッド	1打目(根音を指定)		2打目(タイプを指定)
	パッドのみ	ペダル+パッド	
パッド1	C	C#(D♭)	メジャー(Maj)
パッド2	D	D#(E♭)	メジャーセブンス(M7)
パッド3	E	F	セブンス(7tn)
パッド4	F	F#(G♭)	セブンスサスフォー(7sus4)
パッド5	G	G#(A♭)	マイナー(min)
パッド6	A	A#(B♭)	マイナーセブンス(m7)
パッド7	B	C	マイナーセブンスフラットナイン(m7°)
パッド8	C	C#(D♭)	ディミニッシュ(dim)

9-1. リアルタイム録音

①リズムスタイルの選択

録音する曲に合うリズムスタイルを選択します。

※ただしリズムスタイルの番号は記録されません。

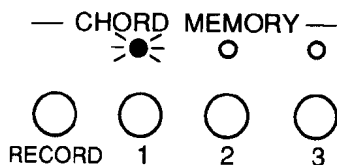
②テンポの指定

演奏しやすい(コード指定しやすい)速さにします。

※ただしテンポは記録されません。

③録音先の選択

コードメモリー録音ボタンを押しながら、コードメモリー1～3いずれかのボタンを押します。すると録音モードに入り、押した曲番号のランプが点滅します。



※マルチディスプレイには、小節数と拍が表示されます。ただし、小節数の10の位は表示されません。

※コード指定の時、1打しか叩かないと自動的にメジャーになります。

※コード指定の1打目と2打目の間隔が約0.3秒以上あると、別々のコードが入力されます。

⑥コード指定を継続

曲の流れに沿ってコード進行を指定してください。

※イントロ/パターン中にコードを指定すると、イントロ/パターン全体にコード指定したことになります。

⑦フィルインパターンやブレイクを入れる場合は

曲の途中でフィルイン1やフィルイン2、ブレイクボタンを押して、フィルインパターンやブレイクを入れることもできます。

⑧録音の終了

録音を終了します。2種類の方法があります。

エンディングパターンでストップさせる場合：

イントロ/エンディングボタンを押します。また、エンディングパターンにコードを（1つだけ）録音できます。

普通のパターンでストップさせる場合：

スタート/ストップボタンを押します。または、録音していた曲番号のボタンを押します。

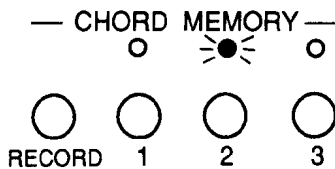
※普通のパターンで終了させると、再生の時は繰り返し再生されます。

※叩くタイミングは、テンポに遅れないで（むしろ少し早めに）ください。

9-2. ステップライト録音

①録音先の選択

コードメモリー録音ボタンを押しながら、コードメモリー1～3いずれかのボタンを押します。すると録音モードに入り、押した曲番号のランプが点滅します。



②録音スタート

録音をスタートさせます。3種類のスタート方法があります。

リズムだけのイントロ/パターンからスタートさせる場合：

イントロ/エンディングボタンを押します。リズムだけの2小節のイントロ/パターンが録音され、3小節の1拍目に移ります。

ベース音とコード音付きのイントロ/パターンからスタートさせる場合：

イントロ/パターンのコードを指定した後、イントロ/エンディングボタンを押します。2小節のイントロ/パターンが録音され、3小節の1拍目に移ります。

イントロ/パターン無しの普通のパターンからスタートさせる場合：

最初のコードを指定した後、そのコードの長さを指定します。

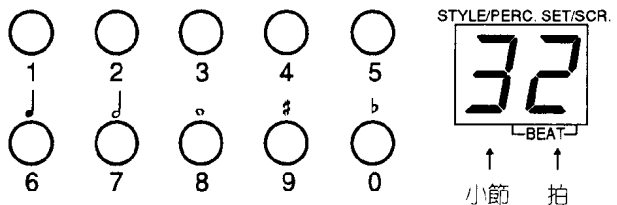
③コードとコードの長さを指定

マルチディスプレイを見ながら指定してください。

※コードを指定し、次にそのコードの長さを指定すると、指定した長さだけ拍数が進みます。

ステップライト録音時のコード指定方法

パッド	1打目(根音を指定)			2打目(タイプを指定)
	パッドのみ	ペダル+パッド または [4]ボタン+パッド または [9]ボタン+パッド	[6]ボタン+パッド または [0]ボタン+パッド	
パッド1	C	C#(D♭)	B	メジャー(Maj)
パッド2	D	D#(E♭)	C#(D♭)	メジャーセブンス(M7)
パッド3	E	F	D#(C♭)	セブンス(7th)
パッド4	F	F#(G♭)	E	セブンスサスフォー(7sus4)
パッド5	G	G#(A♭)	F#(G♭)	マイナー(min)
パッド6	A	A#(B♭)	G#(A♭)	マイナーセブンス(m7)
パッド7	B	C	A#(B♭)	マイナーセブンスフラットファイブ(m7♭5)
パッド8	C	C#(D♭)	B	ディミニッシュ(dim)



ステップライト録音時のコードの長さ指定方法

ボタン	コードの長さ
[1]または[6]ボタン ♪	4分音符分
[2]または[7]ボタン ♪	2分音符分
[3]または[8]ボタン ○	全音符分
イントロ/エンディング	イントロ/パターンの長さ(2小節)分/ エンディングパターンの長さ分
フィルイン1	フィルイン1の長さ(最長1小節)分
フィルイン2	フィルイン2の長さ(最長1小節)分
ブレイク	ブレイクの長さ(最長1小節)分

※マルチディスプレイには、これから録音する小節数と拍が表示されます。

※3/4拍子の曲のコード進行を録音する場合でも、4拍目に何かを録音してください。再生時に3/4拍子のリズムスタイルを選べば、4拍目は自動的に消えて再生されます。

※根音を指定して(タイプを指定せずに)コードの長さを指定す

ると、そのコードのタイプは、メジャーになります。

※コードを指定せずに(根音も指定せずに)コードの長さを指定すると、コードは前のコードと同じになります。

※コードの長さを指定する前であれば、コードの指定を何度でもやりなおすことができます。

④コードとコードの長さ指定を継続

マルチディスプレイを見ながら指定してください。

⑤フィルインパターンを入れる場合は

フィルインパターンを入れる箇所にさしかかったら、コードを指定し、コードの長さを指定する代わりにフィルイン1またはフィルイン2ボタンを押します。フィルインパターンがその小節の終わりまで録音され、次の小節の1拍目に移ります。

⑥ブレイクを入れる場合

ブレイクを入れる箇所にさしかかったら、ブレイクボタンを押します。ブレイクがその小節の終わりまで録音され、次の小節の1拍目に移ります。

⑦録音の終了

録音を終了します。2種類の方法があります。

エンディングパターンでストップさせる場合：

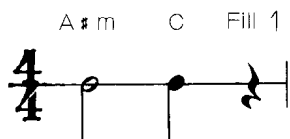
エンディングパターンのコードを指定した後、イントロ/エンディングボタンを押します。

普通のパターンでストップさせる場合：

スタート/ストップボタンを押します。または、録音していた曲番号のボタンを押します。

※普通のパターンで終了させると、再生の時点で繰り返し再生になります。

（ステップライト録音の例）



1. 2分音符分のA#mを入力します。

- ・根音A#を入力 : ペダルを踏みながら/パッド6を叩く。
または、
4ボタンを押しながら/パッド6を叩く。
または、
9ボタンを押しながら/パッド6を叩く。

- ・タイプminを入力 : /パッド5を叩く。
- ・2分音符分を入力 : 2または7ボタンを押す。

2. 4分音符分のCを入力します。

- ・根音Cを入力 : /パッド1を叩く。
- ・タイプMajを入力 : /パッド1を叩く。
(メジャーは省略も可能です。)
- ・4分音符分を入力 : 1または6ボタンを押す。

3. フィルイン1を入力します。

: フィルイン1ボタンを押す。

9-3. 再生

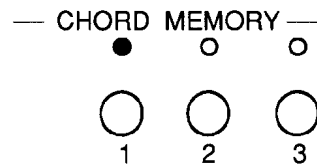
①再生前の設定

再生させる曲に合うリズムスタイルを選択し、次にテンポを指定します(タップスタートさせる場合は、テンポを指定する必要はありません)。

4/4拍子で録音された曲を3/4拍子で再生させると、自動的に4拍目が削除されます。

②再生スタート

再生させる曲のボタン(コードメモリー1~3のいずれか)を押します。すると、押した曲番号のランプが点灯し、すぐに再生が始まります。



③パッド演奏

パッドやフットペダル、スクレーパー、ブレイク、マイナスイオン等を使って自分の演奏を加えることができます。

※リズムスタイルの切り替えやテンポ変更、楽器音の割り当て変更、フィルインの追加も可能です。

④ストップ

エンディングパターンでストップさせる場合：

イントロ/エンディングボタンを押します。

普通のパターンでストップさせる場合：

スタート/ストップボタンを押します。または、再生させていた曲番号のボタンを押します。

10. MIDI機能でステップアップ

DD-12はMIDI機能(MIDI端子)を持った楽器です。MIDIという言葉はミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス(Musical Instrument Digital Interface)の頭文字をとったもので、「ミティ」と読みます。MIDIは、2台以上のMIDI製品を接続して、それらの間で、演奏にまつわるさまざまなコントロールをさせようという目的で考え出された世界統一規格です。

DD-12には、次の2種類のMIDI端子があります。

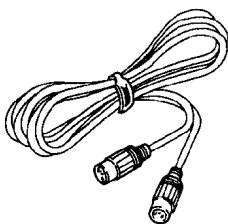
MIDI OUT(ミティアウト)：

DD-12のパッドでの演奏(NOTEと強さ)やリズムのスタート、ストップ情報を出力します。

MIDI IN(ミティイン)：

他のMIDI製品からの情報を入力します。

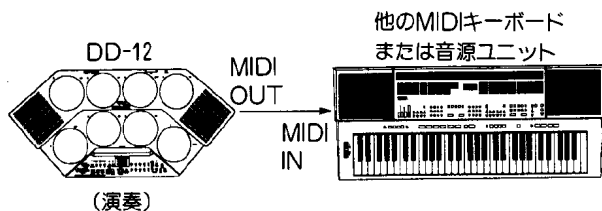
MIDI接続には、別売のMIDIケーブルが必要です。



MIDI OUT端子を使ってできること

◆MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合

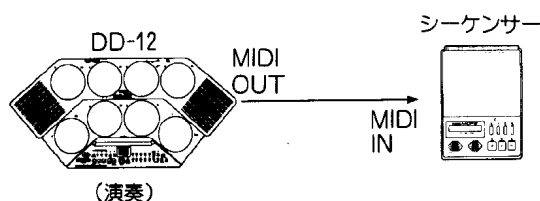
- ・DD-12のパッドを叩くと、接続した製品もそれ自身の楽器音で同時に鳴ります。つまり、接続した製品の音を同時に鳴らすことができ、音に厚みができます。
- ・リズムやオートベースコードを鳴らした時にも、同時に鳴ります。



◆MIDIシーケンサーを接続した場合

(MIDI信号などデジタル情報で演奏を記録する機器は、一般にシーケンサーと呼ばれています。)

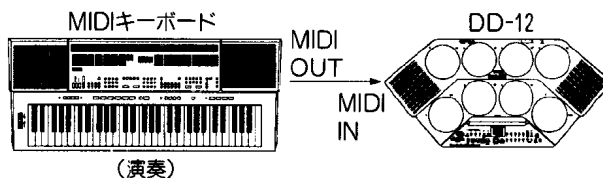
- ・DD-12でのパッド演奏の内容を、MIDIシーケンサーに記録できます。MIDIシーケンサーには多くの曲を記録しておくことができ、後でそれを再生させることができます。
- ・リズムのスタートやストップを送信します。
- ・クロックを送信します。



MIDI IN端子を使ってできること

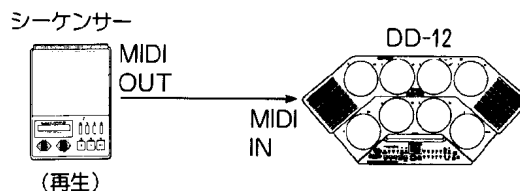
◆MIDIキーボードに接続した場合

外部のMIDIキーボードを演奏して、DD-12の楽器音を鳴らすことができます。つまり、DD-12のパッドでなく、キーボードの鍵盤でパッド演奏できます。(DD-12のパッドに割り当てていない楽器音でも鳴らせます。)



◆MIDIシーケンサーに接続した場合

MIDIシーケンサーに記録済みの演奏内容を、DD-12の楽器音で再生できます。



- ・リズムのスタート、ストップ情報を受信します。
- ・クロックを受信します。

MIDI送信チャンネルの設定方法

他のMIDI製品に情報を送るためには、DD-12のMIDI送信チャンネルと他のMIDI製品のMIDI受信チャンネルを一致させるか、または他のMIDI製品をオムニオンの状態にする必要があります。

①MIDIボタンの▶と◀を同時に押しながら、

②0～9ボタンを押してMIDI送信チャンネルを、01～16チャンネルの範囲で設定します。(マルチディスプレイを見ながら最初は10の位、次に1の位を指定します。)

※MIDI送信チャンネルを設定していない初期値の時点では、①の操作を行った時「CO」と表示され、10の位を指定すると左桁に、1の位を指定すると右桁に表示されます。

※「CO」は初期値の意味で、設定を変更していないことを意味します。

※設定は01～16までできますが、00を入力すると「CO」の表示になり、初期値に戻ります。

※チャンネル設定を間違えた場合は、指定しなおしてください。

※電源スイッチをオンにすると、設定したチャンネルは初期値に戻ります。

内部クロック/外部クロックの切替方法

MIDIシーケンサーと情報をやりとりさせる場合は、シーケンサーに同期させるか、DD-12に同期させるかを、両製品の間で一致させてください。

①MIDIアサインボタンの▶と◀を同時に押しながら、

②コードメモリー録音ボタンを押して、内部クロックに同期させるか、外部クロックに同期させるかを指定します。

・内部クロック(DD-12のクロック)に同期させる場合……
表示を「oF」にする

・外部クロック(シーケンサーのクロック)に同期させる場合……
表示を「on」にする

※設定していない初期値は「oF」で、①、②の操作を行うたびに「on」と「oF」が繰り返されます。

※電源スイッチをオンにしなおすと、「oF」に戻ります。

MIDIデータ表

ノートNo.	楽器名	送達時				受信時			
		初期値		設定範囲		プログラムNo.	チャンネルNo.		
		プログラムNo.	チャンネルNo.	プログラムNo.	チャンネルNo.	プログラムNo.	チャンネルNo.		
D#0	27	02	バスドラム3	なし	10	なし	1~16	なし	10
E0	28	08	スネア5						
F0	29	16	エレクトリックタム2						
F#0	30	19	ハイハットクローズ2						
G0	31	20	ハイハットオープン2						
G#0	32	03	バスドラム4						
AC	33	06	スネア3						
A#0	34	07	スネア4						
BC	35	00	バスドラム1						
C1	36	01	バスドラム2						
C#1	37	09	リムショット						
D1	38	04	スネア1						
D#1	39	35	ハンドクラップス						
E1	40	35	スネア2						
F1	41	10	タム(ロー)						
F#1	42	17	ハイハットクローズ1						
G	43	13	エレクトリックタム1(ロー)						
G#1	44	17	ハイハットクローズ1						
A1	45	11	タム(ミッド)						
A#1	46	18	ハイハットオープン1						
B1	47	14	エレクトリックタム1(ミッド)						
C2	48	12	タム(ハイ)						
C#2	49	21	クラッシュシンバル						
D2	50	15	エレクトリックタム1(ハイ)						
D#2	51	24	ライドシンバル						
E2	52	-	-						
F2	53	23	ライドシンバルカップ						
F#2	54	38	タンバリン						
G2	55	22	スプラッシュシンバル						
G#2	56	36	カウベル						
A2	57	21	クラッシュシンバル						
A#2	58	-	-						
B2	59	24	ライドシンバル						
C3	60	-	-						
C#3	61	-	-						
D3	62	27	コンガ(ミュート)						
D#3	63	26	コンガ(ハイ)						
E3	64	25	コンガ(ロー)						
F3	65	29	ティンパレス(ハイ)						
F#3	66	28	ティンパレス(ロー)						
G3	67	32	アゴゴ(ハイ)						
G#3	68	31	アゴゴ(ロー)						
A3	69	37	カバサ						
A#3	70	-	-						
B3	71	-	-						
C4	72	-	-						
C#4	73	41	ギロ(ショート)						
D4	74	42	ギロ(ロング)						
D#4	75	30	クラベス						
E4	76	40	クロムスティック(ハイ)						
F4	77	40	クロムスティック(ロー)						
F#4	78	34	クワイカ(ハイ)						
G4	79	33	クワイカ(ロー)						
G#4	80	-	-						
A4	81	-	-						
A#4	82	39	フィンガースラップ						
B4	83	43	ベルツリー						
C5	84	44	声1(ワン)						
C#5	85	45	声2(トゥ)						
D5	86	46	声3(スリー)						
D#5	87	47	声4(フォー)						
E5	88	48	犬の鳴き声						
F5	89	49	猫の鳴き声						
F#5	90	50	ライオンの声						
G5	91	51	ジャングル						
G#5	92	52	車のクラクション						
A5	93	53	ブザー						
A#5	94	54	コインが落ちる音						
B5	95	55	水の流れる音						
C6	96	56	スリッパの音						
C#6	97	57	声(ウツ)						
D6	98	58	サウンドエフェクト1						
D#6	99	59	サウンドエフェクト2						
E6	100	60	サウンドエフェクト3						
F6	101	61	サウンドエフェクト4						
F#6	102	62	サウンドエフェクト5						
G6	103	63	サウンドエフェクト6						
G#6	104	64	拍手						
C3~C#4	60~73	65	ピッコロフロン	12	1			12	1~16
C3~C#4	60~73	66	マリンバ	13	2			13	
C3~C#4	60~73	67	シロフォン	14	3			14	
C3~C#4	60~73	68	クロツケン	10	4			10	
C3~C#4	60~73	69	チェレスタ	9	5			9	
C3~C#4	60~73	70	スチールドラム	115	6			115	
C3~C#4	60~73	71	ティンパニ	48	7			48	
C3~C#4	60~73	72	ベル	113	8			113	
C3~C#4	60~73	73	オーケストラヒット	56	9			56	
C3~C#4	60~73	74	シンヤサイザーヒット	64	11			64	

システムエクスルーシブのフォーマット

- ・システムエクスルーシブは、送受信ともに可能です。
- ・送信チャンネルを変更しても、システムエクスルーシブのMIDI送受信チャンネルは、0(1チャンネル)に固定です。
- ※オートベースコード、フィルイン、イントロ/エンディング、ソングは、コードメモリー録音時には受信しません、

ステータス	F0H
ヤマハID	43H
PKコード	76H
フォーマットナンバー	04H
チャンネル	00H
操作子	ccH
データ	ddH
EOX	F7

メッセージ	cc	dd
スタイルNo.	00H	00H~63H
ABCオフ	01H	00H
ABCオン	01H	02H
フィルオフ	03H	00H
フィルイン1 オン	03H	01H
フィルイン2 オン	03H	02H
イントロ/エンディング	04H	00H *1
ソング1再生	15H	09H *2
ソング2再生	15H	0AH *2
ソング3再生	15H	0BH *2

- *1: イントロの際は、イントロメッセージを送信した直後にスタート(FAH)を送信します。エンディングの際は、エンディングがすべて終わった時にストップ(FCH)を送信します。
- *2: コードメモリーの再生時は、ソングメッセージを送信した直後にスタート(FAH)を送信します。コードメモリーに録音されたイントロおよびエンディングは送信しません。

MIDIインプリメンテーションチャート DD-12

Date: 1992.3.18
Version: 1.0

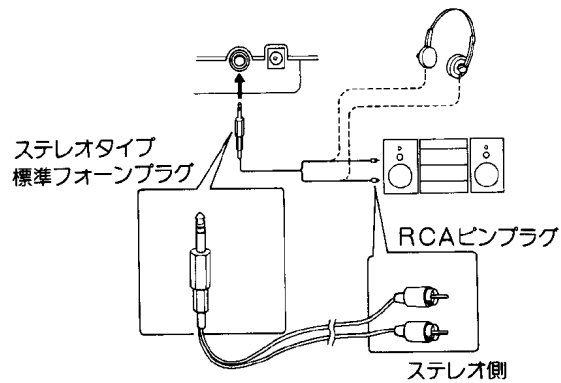
ファンクション	送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能 1~11 1~16	1~16 1~16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用 モード3 × *****	モード3 × ×	
ノート ナンバー	音域 27~104 *****	24~108 24~108	21ページの表を参照
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ ○ 9nH, v=1~127 × 9nH, v=0	○ v=1~127 ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別 × ×	× ×	
ピッチ・ベンダー	×	×	
コントロール チェンジ	×	×	
プログラム チェンジ	○ *****	○	
エクスルーシブ	○	○	22ページを参照
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン × × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド ○ ○	○ ○	
その他	ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット × × ○ ×	× × ○ ×	
備 考			

モード1：オムニ・オン、ポリ モード2：オムニ・オン、モノ ○：あり
モード3：オムニ・オン、ポリ モード4：オムニ・オン、モノ ×：なし

11. 他の機器と接続するには

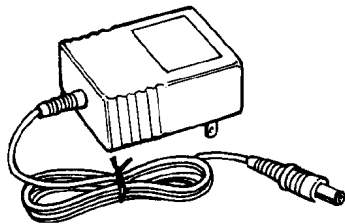
リアパネルのヘッドホン/AUX出力端子を使いステレオなどに接続して、より大きな音で鳴らしたり、カセットテープに演奏を録音することができます。

- ※ステレオに接続する時は大音量で機器をこわさぬよう、DD-12とステレオのボリュームを0にしてください。接続後は、DD-12のボリュームを8分目にして、ステレオのボリュームで音量を調節してください。
- ※この端子にプラグを差し込むと、DD-12のスピーカーからは音が出なくなります。
- ※ステレオに接続する場合は、接続コードとステレオ変換プラグが必要です。



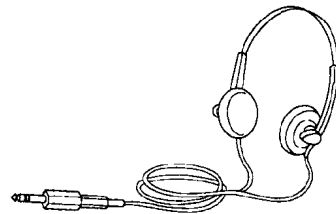
12. オプション(別売品)のご紹介

電源アダプター・PA-3 ¥2,000



ステレオヘッドホン・HPE-3 ¥3,000
ステレオヘッドホン・HPE-5 ¥5,500

図はHPE-3



※表示の価格には、消費税は含まれていません。

13. おかしいな?と思ったら

おかしいな?と思った時は、この表を見てください。

現象	原因	解決法
電源スイッチをオンまたはオフにした時、“ブツ”と音がる。	電流が流れたため。	ご心配いりません。
音色により、わずかにノイズが交じって聞こえるものがある。(パイプ等の音色で)	デジタル処理をするために生じるノイズです。	ご心配いりません。
スピーカーから全く音が出ない。	音量が下がっている。	ボリュームを上げてください。
	ヘッドホン/AUX出力端子にプラグを差しているため。	プラグを抜いてください。
音が歪む。	乾電池が寿命のため。	6本とも単2で同じ種類の新しいものと交換してください。
テンポが変わらない。	一番遅い状態よりも遅くしようとしている。または、一番速い状態よりも速くしようとしている。	♪=40~280の範囲で設定可能です。
パッドを叩いても、割り当てた楽器音で鳴らない。	正確に割り当てをしていない。	割り当てをしておいてください。(11ページ参照)
パーカッションセットの内容が変わってしまっている。	マイナスイフの状態にしたため。	パーカッションセットの中から選択しなおしてください。
コードメモリーに録音した内容が消えてしまっている。	1週間以上使用していない。	週に1回以上電源を入れてご使用ください。
パーカッションセット25~29に記憶させたカスタム1~5の内容が消えてしまっている。		
次の内容が消えてしまっている。 ・選択したパーカッションセットの番号 ・選択したリズムスタイルの番号 ・選択したテンポ ・設定したパッド感度 ・MIDI送信チャンネル ・MIDI内部クロック/外部クロック	電源スイッチをオンにしなおしたため。	設定しなおしてください。
パッドを叩くと、マルチディスプレイが「00」になる。	乾電池が寿命のため。	6本共単2で同じ種類の新しいものと交換してください。
リアルタイム録音で、コードの変更がうまくできない。	パッドを叩くタイミングがずれている。	リズムのタイミングに遅れないで(むしろ少し早目に)ください。
コード進行は合っているが、異なった感じで再生されてしまう。	・スタイルが異なっている。 ・テンポが変わっている。	スタイルとテンポを選択しなおして再生してください。

14. 仕様

パッド

8ヶ

リズムのスタイル(100種類)

ダンス1~6、ハウス1~4、ヒップホップ1~4、ラップ1~4、ディスク1~4、ユーロビート1~3、ポップロック1~2、ハードロック1~2、ヘビーメタル1~2、コンテンポラリーロック1~2、8ビート1~4、16ビート1~4、ロックシャッフル1~2、ラテンロック1~3、カントリーロック、ロックフュージョン1~2、ロックンロール'50、ロックンロール'60、ロックンロール'70、ロックンロール'80、リズム&ブルース1~2、ブルースロック、ソウル1~2、ファンク1~4、ビックバンドジャズ、コンボジャズ、ファーストスイング、ミディアムスイング、スロースイング、ジャズバラード、ボサノバ1~3、サンバ1~3、ダンスサルサ1~2、ジャズサルサ、レゲエ1~2、カリプソ、メレンゲ、ビギン、ルンバ1~2、マンボ1~2、チャチャ1~2、タンゴ、ラテンフュージョン1~3、ラテンバラード1~2、ソニアフロ、モザンビーク、ポルカ、マーチ、ワルツ、ジャズワルツ

パッド対応楽器音(75種類)

バスドラム1~4、スネア1~5、リムショット、タム(ロー)、タム(ミッド)、タム(ハイ)、エレクトリックタム1(ロー)、エレクトリックタム1(ミッド)、エレクトリックタム1(ハイ)、エレクトリックタム2、ハイハットクローズ1、ハイハットオープン1、ハイハットクローズ2、ハイハットオープン2、クラッシュシンバル、スプラッシュシンバル、ライドシンバルカップ、ライドシンバル、コンガ(ロー)、コンガ(ハイ)、コンガ(ミュート)、ティンパレス(ロー)、ティンパレス(ハイ)、クラベス、アゴゴ(ロー)、アゴゴ(ハイ)、クイーカ(ロー)、クイーカ(ハイ)、ハンドクラップス、カウベル、カバサ、タンバリン、フィンガースナップ、クロススティック、ギロ(ショート)、ギロ(ロング)、ベルツリー、声1(ワン)、声2(トゥー)、声3(スリー)、声4(フォー)、犬の鳴き声、猫の鳴き声、ライオンの声、ジャングル、車のクラクション、ブザー、コインが落ちる音、水の流れる音、スクラッチノイズ、声(ウツ)、サウンドエフェクト1~6、拍手、ビブラフォン、マリンバ、シロフォン、グロッケン、チェレスタ、スチールドラム、ティンパニ、ベル、オーケストラヒット、シンセサイザーヒット

スクレーパー対応楽器音(9種類)

オートハープ、ベルツリー、ビブラホン、ギター、ギロ、クイーカ、スクラッチ、スネアロール、マルチドラム

コントロール

電源スイッチ、ボリューム、マルチディスプレイ、スタート/ストップボタン、フィルイン1・2ボタン、イントロ/エンディングボタン、タップスタート/ブレイクボタン、コードメモリー録音ボタン、コードメモリー1~3ボタン、マイナスイオンボタン、スーパーセッションプレーヤーボタン、MIDI/パッド/ペダルアサインボタン、スクレーパーアサインボタン、0~9ボタン、スタイル/パーカッションセットボタン、オートベースコードボタン、テンポボタン、オートロールボタン、デモボタン、パッド1~8、スクレーパー

表示

2桁マルチディスプレイ(パーカッションセット、スタイル、スクレーパー、拍子等を表示)、スタイルリスト、パーカッションセットリスト、スクレーパーリスト

付属端子

電源アダプター接続用端子、ヘッドホン/AUX出力端子、MIDI端子(イン、アウト)、フットペダル端子

メインアンプ

3W×2(8Ω)

スピーカー

10cm(8Ω)×2

定格電源

DC10~12V : 単2乾電池6本
電源アダプター(PA-3、PA-4)

消費電力

乾電池使用時 : 6W
電源アダプター使用時 : 10W

電池寿命

約4時間(マンガン電池使用、デモ演奏、ボリューム最大時)

外装

(間口)608mm×(奥行)281mm×(高さ)105mm

重量

2.2kg(乾電池重量含まず)

付属品

スティック1組、フットペダル1個、パッド/ペダルアサイン用楽器音リスト1枚

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

15. アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1年です。
(日本国内のみ有効)
- 保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“おかしいと思ったら”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けることもございます。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

[修理受付および修理品お預り窓口]

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL.011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL.025-243-4321
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F TEL.03-3255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL.053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL.052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL.06-877-5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ(株)神戸店内7F TEL.078-321-1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL.0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL.082-874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
(本 社) カスタマーサービス部	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL.053-465-1158

YAMAHA

YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社

北海道支店 LM営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター TEL.011-512-6113
仙台支店 LM営業課	〒983 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL.022-222-6140
東京支店 特販営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL.03-3572-3130
関東支店 LM営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL.03-3572-3130
名古屋支店 LM営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052-201-5150
大阪支店 特販営業課	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 TEL.06-252-7491
広島支店 LM営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082-244-3749
九州支店 LM営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2130
国内営業統括本部 LM営業部	
ポータブル楽器営業課	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル TEL.03-5568-2937

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

VN75640 JCAER1AP1.3AP